読んでみよう

病院へ　いこう
—けんこうに　くらすために—

文—すずきのぶよし・絵—たけいようこ
Sプランニング　☎03-3766-1636　1,050円（税込）

誰もが健康を願っています。でも、自分の身体のことや健康のこと、病院ではどんな治療が受けられるのかなどを知っていないと、健康に気をくばったり、必要なときに医療を受けたりすることはできません。この本は、病院にかかるときに、受付をしたり、お医者さんと話をしたり、検査をする手順などが、イラストと簡単な文章で書かれています。

知的な障害のある人の中には、この本を読んで「そうか、なるほど」と、自分自身で理解できる人もいるでしょう。身近にいる人がこの本を使いながら、その人自身がわかる言葉で説明をすると、不安がやわらぐ人もいるでしょう。私が、日頃お付き合いをしている方たちは、自分で文字を読んだり、イラストや文章だけで状況を想像したりすることが、少し難しいかもしれません。でも、本をひらいて「おなか」「ここ」「いたいね」と、自分のおなかをさすりながら話をしたり、実際に病院に行くときに持っていって、場面と合わせて見たりすると伝わる人もいます。もし、1ページに描かれている絵の全体を見てしまうとかえってわかりにくい人がいたら、真ん中をくりぬいたボール紙を絵にあてて、具体的な部分をフォーカスしてから、もう一度絵全体を見たりすると理解しやすくなるように思います。

この本を、あなたの知っている障害のある人に贈ってみてはいかがでしょうか。お医者さんに、配慮をお願いするときに使ってもいいかもしれません。学校の先生や、支援に関わる方にも、ぜひ手元においてほしい一冊です。大切なのは、健康の大切さを伝えることと、障害のある人が安心して医療を受けられることです。誰もが、健康で暮らせるように…。

（森山千佳子）